

令和2年度森林環境譲与税の使途

市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	税導入の効果（総括）
			(A)+(B)+(C)	(A)うち令和2年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）			
奥出雲町	① 意向調査の準備作業	意向調査準備等事務費	242	242	0	0	意向調査準備等、新たな森林管理システム事業推進のための諸事務費	現地確認用の車リース代、燃料代等
奥出雲町	① 意向調査の準備作業	森林資源デジタル化事業	69,300	29,938	814	38,548	国庫補助事業により約11,340haの森林資源デジタル化事業を実施。残面積の約17,151haについては、航空レーザ計測のみ実施予定（町単）。	レーザ計測：28,491ha 資源解析：11,358ha
奥出雲町	⑥ 林道・林専道の整備等	路網設計支援システム導入	1,026	76		950	効率的な施業を推進するために必要な林業専用道の設計支援システム及び現場用PCを導入。	システムの導入及び航空レーザ測量データの加工
奥出雲町	⑧ 担い手確保	緑の担い手育成補助	4,080	4,080	0	0	林業中核的担い手（50歳以上対象）に対する社会保険料助成	1事業体17人
奥出雲町	⑪ 新たな組織の設立	推進センター委託	2,170	2,170	0	0	県森林経営推進センターに対する事業委託	市町村職員向けの技術研修の企画・実施、新たな森林管理システムの市町村事務処理マニュアルの整備等
奥出雲町	⑭ 木質バイオマス利用推進	木の駅事業補助	2,590	2,590	0	0	適切な森林整備を目的とする自伐型林業において生産される間伐材の買取を町が支援。町内中学校での伐木体験、自伐林家育成のための研修会を開催。	

【ワンフレーズ】
税の活用について、航空レーザ測量実施のため大部分を充当した。
【詳細】
本町は、町内全体で人工林率が6割を超え、県内の中でも森林資源が充実しているが、これまでは予算の都合等もあり十分に森林整備が行えていなかった。税を導入したことにより、長期的且つ効率的な森林整備が見込め、令和2年度～3年度にかけて航空レーザ測量データを整備、令和4年度からは各路網整備や森林経営管理制度の推進等を予定している。令和3年度は引き続き航空レーザ測量データの整備、林業専用道の設計等を行う。